



第二中だより

No. 558

開校 53周年

生徒数 422名

令和元年 7月1日

和光市立第二中学校

〒351-0106 埼玉県和光市広沢1番4号

TEL 048-462-1793

FAX 048-462-1890

<http://2chu.wako-city.ed.jp/>

一生懸命の姿勢

校長 橋本 真

一生懸命頑張る皆さんの姿は、「本当にかっこいい」と思います。そんな思いをした1学期でした。「背筋を伸ばして一生懸命授業を受ける姿」「登校時校門で大きな声であいさつする姿」。「朝から放課後と毎日毎日、一生懸命部活動の練習に取り組む姿」私が大好きな二中生の姿です。このように頼もしい皆さんには、実現すべき目標をしっかりと見据え、負けそうになる自分と向き合い続けて欲しいと思います。

その延長線上に初めて目標がかなえられるものです。1年生は入学して約3ヶ月、小学校より少し厳しい中学校生活にも徐々に慣れ、学習への取組も前向きになってきました。上級生・下級生という上下の関係から「順番」という決まりごとを、試合に参加するためには「ルールを守る」という決まりを教わったと思います。挨拶の声も大きく、しっかりとした声になりました。先輩とともに中学校生活の第一歩を確実に踏み出せたと思います。その歩みを止めることなく、進んで下さい。

2年生は、この夏休み、まず、部活動のバトンを3年生から受け継ぎ、自分たちが主体となって取り組んで行くこととなります。

2年生の2学期は、皆さんの人生の中でも一番大きく成長する時です。「自分の成長に挑戦する時」として、自分の力を積極的に伸ばす努力を積み重ねてください。

3年生は、自分の目標実現に向けた、試練の夏となります。この1学期、学習への意識が高まり、それが授業態度として表れていました。ただ、この夏、そして2学期と、希望進路の実現に向けて、保護者、担任と相談を深め、進路に対する自分の考えをまとめ、見定めてください。その考えにしたがって、努力あるのみです。自分を甘やかすことなく、着実に毎日を過ごして欲しいと思います。

すべては結果ではない。積み重ねていく努力にこそ価値がある。

先日、運動部活動に取り組んでいる皆さんが目標にしている学校総合体育大会の全日程が終了しました。とりわけ、運動部活に所属する3年生の皆さんは、中学校生活最後の夏。この大会に向ける思いや意気込みは並々ならぬものがあったと思います。

6月16日の日曜日から始まった、朝霞地区学校総合体育大会、各会場で繰り広げられた真剣勝負に私は、感動しました。県大会へ進んだ部活動、おめでとうございます。これで、満足することなく、更に、上の大会を目指してください。

惜しくも、県大会に手が届かなかった部活動は、決して悔やんでは、いけないと思います。皆さんが必死に打ち込んできた姿は、下級生の1・2年生が、しっかりと、受け継いでいます。胸を張ってください。大会の結果は、裏面に掲載しています。

大会の結果がどうであれ、努力は続けることに意味があります。結果というのは必ず積み重ねてきた努力の先に出てくるものです。そして、結果の良し悪しにかかわらず、その結果をしっかりと反省し、次の目標にどう生かし、どう繋げていくかということが大切に思われてなりません。

努力して結果が出ると 自信になる。

努力せず結果が出ると 傲りになる。

努力せず結果も出ないと 後悔が残る。

**努力して結果が出ないとしても
経験が残る。**